

令和4年度 第1回CASE研究会 技術セミナー (Web配信)

～カーボンニュートラルとCASE～

開催日時: 令和4年8月30日(火) 13:30~16:00 参加費: 無料

2050年までのカーボンニュートラル実現がグローバルに要請されている。カーボンニュートラルを代表とする自動車の課題解決のためには 電動化などCASEの各要素がばらばらに進化するだけでなく、CASE各要素間の融合や エネルギー・DXなど他要素との融合が求められている。今回はカーボンニュートラル実現のために必要なアクションについて自動車運転・電動車・MaaS・電力とクルマの連携について最新動向を紹介する

講演1 「自動車産業の現状と将来のあり方について」

経済産業省 製造産業局 自動車課 課長補佐(戦略総括) 小林 直貴氏

<概要>

「CASE」(コネクティッド・自動化・サービス・電動化)と呼ばれる、「グリーン化」と「デジタル化」が大きな潮流となる中、今後世界で自動車の作り方・使い方が大きく変革していく可能性がある。自動車をとりまく環境変化を踏まえ、①目指すべき「モビリティ社会」や、②その実現に向けて解決すべき課題(ミッション)側から見た取組について講演する。

<プロフィール>

2012年経済産業省入省。資源エネルギー庁省エネルギー課、国際課において東日本大震災後のエネルギー政策に携わる。その後、防衛省防衛装備庁への出向を経て、通商政策局国際経済課にてG20議長国として貿易分野の閣僚声明・首脳声明の調整に携わる。米国マサチューセッツ工科大学への留学を経て、2022年6月より現職。



講演2 「CNと防災に寄与する東京電力の新しい電化・V2H」

東京電力ホールディングス株式会社 経営技術戦略研究所
事業開発推進室 電化開発プロジェクトグループ グループマネージャー 猿田 健一氏

<概要>

当社は、CN(カーボンニュートラル)実現に向けた需要の電化、またレジリエンス(防災)向上のため、家庭用の太陽光発電、蓄電池、EVの連携を可能とする多機能パワコンシステムの開発を進めております。講演では、主に、開発の背景、システムの特長、そして将来の活用イメージについてご紹介いたします

<プロフィール>

1999年3月筑波大学大学院理工学研究科卒業。
1999年4月東京電力(株)入社。
変電部門・法人営業部門を経て、主に、蓄電池の運用・評価・活用技術の研究に従事。現在、経営技術戦略研究所に所属し、電化開発に関わるプロジェクトを担当。



開催日時 **令和4年8月30日(火) 13:30~16:00**

参加費 **無料 (定員80名)**

申込締切 **8月25日(木)16:00まで**

※開催前日までにセミナーのURLをご案内します。

申込方法 **お申込みは、ホームページから**

<https://www.saitama-j.or.jp/seminar/case20220830d1/>

問合せ先

(公財)埼玉県産業振興公社 先端産業振興グループ
〒338-0001 さいたま市中央区上落合2-3-2 TEL 048-711-6870 FAX 048-857-3921
URL <https://www.saitama-j.or.jp/jidosha/> E-MAIL jidosha@saitama-j.or.jp